

# 北広島町 定住者の声



▲アメリカ・プリマス、千葉・松戸、広島・府中町を経て、北広島町へやってきたビリングスリー・ファミリー。  
「作業用」だというカッコいい真っ赤なトラックは、娘たちもお気に入りです。

## 移住までの経緯を聞かせてください



エリックさん

ー 昨年11月、安芸郡府中町から来ました。僕は地元が千葉なんですけど、7年くらい住んだんかいね、府中町に。(府中町は)妻の地元なんですよ。

北広島町に来たのは、僕の仕事関係というか。いま、山一建機(株)さんの工場に事務所を間借りさせてもらってるんですけど、その山一建機の山根さんの紹介でした。



真紀さん

カフェをやりたいって話していたんですが、山根さんの紹介で土地を使わせていただけるというお話で。(北広島町に決めたのは)それが大きいですね。カフェはカフェでも「馬カフェ」という計画なんですよ。

## 馬カフェ、ですか？



馬を見ながら、のんびりコーヒーを飲んでもらえるカフェが作りたと思っています。それは府中町じゃ無理でしょ(笑)。ここが最適なんです。今はうちの馬、預かってもらってるんです。島根県の金城にある「かなぎウエスタンライディングパーク」で、調教してもらっています。人間に害を及ぼさないように。



ちょっとジャレたつもりでも、体重が470~480kgありますからね。競技をやるわけじゃないんで、調教って言っても、あまりビシバシ教えることはないんですけど。事務所を借りているさらに上の方に、畑だったり耕作放棄地がたくさんあって、そこを貸してもらえるとことなの

で、段々畑みたいになってる上をカフェにして、その下を放牧場みたいにしようと思っ  
ています。ただ馬がのそ〜っと、何もしてない姿を見るだけなんですけどね。ありが  
たいことに、引っ越した時点で、山根さんはもちろん近隣の方とか集落全体からOK  
はいただいています。



それ（地元の承認）がなかったら、引っ越してなかったよね。ただ、農地転用の問題があ  
って…。一年以上前から計画してるのに、なかなか進まないんですよ。その間に馬  
の調教をしてもらっているので、いい期間でもあるんですけど。

### なぜ馬なんですか？



家族全員、馬が好きなんですよ。見ての通り、おもちゃもたくさんありますが、本もあ  
りますよ。日本にはあまりないから、ほとんどアメリカとか海外の本ですけどね。じつ  
は高校からずっと15年くらいアメリカにいたんですよ。僕はそんなビックリするほど好  
きってわけじゃないですけど、子供の頃も親戚が馬を持っていたし、馬を見る機会  
はそれなりにありました。競技がどうこうっていうんじゃなく、馬と触れ合っている  
人がアメリカは多いんで…。でもいちばん大きかったのは妻の影響かな。初めにハマ  
ったのは妻なので。



小さい頃から好きだったんですけど、そういった環境になかったから、できなかったん  
です。

▼ベルとそっくりな人形と一緒に。長女・沙垂羅ちゃん（右）と次女・那多梨ちゃん（左）



▲「ぜんぶ背の順に並べられるよ！」と馬たちを整列させてくれている那多梨ちゃん

### ビリングスリー家の馬は、どんな子なんですか？



ベルって名前で、10歳になったばかりのオスです。アメリカンクォーターミックスって種類で、西部劇のカウボーイが乗ってる品種とほかの種が混ざった種類。馬超あまえるんですよ。かわいいです。



ちゃんと名前も覚えてて、「ベル！」って呼んだら来ます。私たちの顔のところに自分の顔をすり寄せてくるんです。「自分の家族」みたいな意識があるみたいで、ほかの馬が子供たちのところに来ると、妬くんですよ。



沙垂羅ちゃん

お兄ちゃんみたい。ずっと見ててくれます。なっちゃん（妹の那多梨ちゃん）がチョコチョコしてたら目で追ってたり、話したら「ボクにも話して」って入ってきたりとか。ほかの馬が来ると怒ったりして、怒られた馬が逃げていくんです。



エリックさん

下の子はいつも、うちの馬に本を読んであげ  
んですよ。そうすると、じーっと聞いてます。  
(ことばが) わかるかわからないかは知らない  
けど、何か自分にしてくれてるのはわかるみた  
いです。

◀ 満開の桜をバックに、「長男」ベルを含めて  
ビリングスリー・ファミリー勢ぞろいの家族写真

### 馬関係のお仕事、ではないんですよね？



もとはカメラマンなんですよ。アメリカにいた時はファッションカメラマンをしてました。モデルさんやスタイリストさんとかと組んで年に1回コンテストに出たり。全米チャンプを取ったこともあるんですよ。

日本に帰ってからは、独立するにあたってビジネスの基本を学びたくて、ホテルで働くことにしました。銀座の外資系ホテルでフロントマネージャーをしていたんですが、気が付いたらパンフレットとか作り出してて(笑)。もともとグラフィックデザインをやっていたので、外国人宿泊客用に道案内のパンフレットを作ったり、ホテル関係のパンフレットを作ったり。外資系だったこともあって、外国人のお客さんがものすごく来て、この顔のせいかガンガン声をかけられるんですよ。否が応でも案内するってことを覚えるじゃないですか。

その頃から個人的に広島へ遊びに来てたので、お客さんに「広島へ行ってみなよ」と勧めてたんですけど、帰ってきたお客さんが「何もなかったよ」「原爆ドームと平和公園と宮島で終わっちゃった。あとは大阪に行ったよ」と言われるのが納得いなくて。その頃から広島は面白いと思っていたので。

それからです。外国人観光客をもっと広島へ、と思うようになったのは。

### ゲストハウスも計画されていると伺いました。



空き家バンクで、大朝の方に別荘の賃貸物件をみつけたので「おためし住宅」っていうのと、Air B&B で泊まっていただけだと思って。

このへんの宿泊所のひとに上からヤレ英語にした方がいい、何をしたらいいと言うよりも、自分がサンプルでやった方がいいんじゃないかなと思ったんです。



4月1日からの契約で、3月20日あたりに鍵を貸していただいて。4月の頭に千葉の両親が来たときには泊まってもらったんですが、どうにかこうにか泊まれるように急ピッチで準備をしました。まだお掃除段階で、ここから営業許可を取ったり…という手続きが大変ですね。

田舎暮らしをしたいといっても、住んだこともない、知り合いもないところでイキナリって、不安ですよ。おためしで住めたら、決める手掛かりになって、いいかなと思います。



▲ 豊かな自然に囲まれた静かな別荘地に立つログハウス風の物件。宿泊施設として生まれ変わらせるべく改修&お掃除中。



◀ 1階の和室は個性的なソファがアクセントになり、和モダンな雰囲気。

▶ ロフトにある、屋根裏風のベッドルーム。シングルベッドとダブルベッドのほかにエクストラベッド（エアベッド）も。



## 最近、折り鶴をリサイクルしたキャンドルも話題ですね。



あるとき山根さんが折り鶴をチップにしているのを見て「何か作ってみようかな」と、いろいろ考えました。折り鶴は何万トンもあるそうで、これまでは名刺とかコピー紙とかに使われていたらしいんですが、何かもっと違うものも作ってみたいんじゃないかな、と思って。最初は、「こんなの作って見たら」と意見ばかり言ってたんです。でも「自分でやらないと言えた立場じゃないや」と思って、作ってみました。一度もキャンドルなんて作ったことなかったの、試行錯誤だったんですけど。世界からもらったものを、観光土産じゃないけど、世界にそのままお返しするとか、そういう風にできたらいいなと思ったりして。それが北広島町で作られているっていうのもまた面白いんじゃないか？っていう考えがもとでした。



キャンドルは今、おりづるタワーで販売していますが、売るのとは別に送らせてもらったところがあるんです。去年の年末か正月に被ばく米兵のドキュメンタリー番組を見て、その遺族の方に送ろうと。たまたま僕は半分アメリカ人、半分日本人で、たまたま広島にいて、たまたま折り鶴を使ってキャンドルを作って……これって送った方がスジかな、と思って。人づてにご遺族を探して、5家族に送らせてもらいました。

## 多方面でご活躍なんですね。



「エモーショナルイメージクリエイター」という肩書でして。人に感動を与えられるようなものをプロデュースしたり、企画・制作する仕事です。たとえばお店とかの企画をお手伝いすることがあれば、グラフィックデザインや写真撮影もするので、メニューを作りたいという要望があればメニューを作って、写真も撮って…と、ぜんぶやってしまう。

何でも屋って言われちゃうかもしれませんが、これが自分の職なんですよね。「エモーショナルイメージ」って、画像だけじゃなくて、環境とか状況とかもイメージって呼んでるんで…。ちょっと作るのが難しいなというものでも、とりあえずやってみて、その環境を作ってしまうのかなと。観光も、そのひとつです。外国人が北広島町へ来るというイメージ。キャンドルも「おためし住宅」も、人に感動を与えられるんじゃないかと思って作っています。

## 北広島町での暮らしは、いかがですか？



こっちに来るとき、「何やりたい？」と訊いたら「ホウレン草を作りたい」って子供が。自然が好きなんです。



もう作って食べたよね、ホウレン草。ナスとピーマンも。



山根さんが使ってる畑の片隅にちょっと植えさせてもらって、子供の畑を作っていましたね。あと子供たちが「給食がおいしい」って。府中町は給食センターで作っているのだから冷たくなってるんですね。こっちは各々の学校で作ってるから…。野菜も美味しいしね。以前、市内で一緒に食事をしたとき山根さんが「野菜の味がせんのお」とよく言ってたんですが、今は僕が市内で食べると「野菜の味がしないなあ」って（笑）。同じことを思うようになりました。



給食はあったかくて、野菜がみずみずしくて甘くて、すごい美味しくて。府中町で食べてたより、「すごい美味しいな」って思います。

▼開墾途中の畑にて。遠く背後に少しだけ作物が…。



うちも畑をやってるけど、ヘタなんですよ。近所の人がかわいそうと思ってくれて（笑）、野菜をいっぱいくれるんですよ。子供たちが、自分たちの畑で「できんかった」って泣いてたのを知ってるから、通りがかりに子供たちの分も肥料をやってくれてたり。



肥料をやってくれたら 30cm くらいのキュウリができて、「やったー！ありがとう!!」って。「できたよ」と言ったら「よかったね〜！」って言ってくれて、おみやげに別の野菜をくれたりして（笑）。すごく優しいです。できなかった、って言ったら「じゃあ、これあげる」ってくれたりもするし。



山根さんが「何か植えるんだったら使えや」と 800 m<sup>2</sup>の畑をどーんと貸してくれて。元田んぼだったところで、まだ土をならしきれてないから、暇があるときカチカチやったりしてるんですけどね。

試行錯誤で1人でやってるから、あたたか〜い目で見られているのを感じます（笑）。畑仕事をしてると軽トラから手を振られるっていうのも、よくあるパターンです。

### 大変だったことはありますか？



怖かったのは、雪ですよ。慣れてないから…。今年の冬、2度目にドカッと降ったとき、歩いて通学できないから、中学校へ車で送って行ってたんです。



261号がものすごい凍ってて、スーッと車が止まらなくなっちゃって。選挙期間中で、歩道には手を振ってる人がズラッと並んでたから、まっすぐ行くしかなくて…前の車に「ゴン」。やっちゃいました。10時くらいになれば、（凍結も溶けて）もう大丈夫なんですけどね。



朝の時間だけですよ。それも1年のうち2週間くらいなんだけど…。何回もスリップしました。止まらないんですね、あれ。ホント怖かったです。



そのときは歩いて行きましょう！冬は大変だけど、あとは全部いいとこばかり。緑がいっぱいあるのが好きです。夏は涼しくていいと思います。



みんな大好きなんです。北広島。子供たちも、のびのび育ってます。

## 🚗 移住を検討している方へのメッセージ



中学生からとしては、畑仕事をするには最高です（笑）。野菜嫌いな子とかも、もしかしたらこっちに来たら、野菜が甘いから嫌いなものが少なくなるかもしれない。



市内と比べて、自分がやりたいことを始められるチャンスがあるかなと思います。



好きなことを見つけられるかも。



自分で見つけられる人はいいかもね。お勤めって考える人より、自分で何かしたいって思う人の方がいいかも。



あと、自然が好きな人とか。



▲玄関を飾るラッキーアイテムの蹄鉄（ていてつ）は、愛馬・ベルのもの。



僕も自然愛好家とかナチュラルリストとかじゃないですよ。ぜんぜん。ですけど、おもしろいじゃないですか。フツー、近所の人からトラクターを借りて畑をすとか経験できないから、今までやったことないことを経験するには、いいところかなあと思います。それと、みんな優しいんですよ。やりたいって感情を出せば、温かい目で見してくれる。できない人なりに、来ればいいんですよ。知ったかぶらず、わからないことは素直に「わからん。教えてください」と言ったり、謙虚に黙々とやっていけば、助け船を出してくれます。



ほんと、皆さん優しいですよ。そして、子育て最高！です。

ビリングスリー エリックさん 40代  
真紀（まき）さん 40代  
沙亜羅（さあら）ちゃん 中2  
那多梨（なたり）ちゃん 小3

移居前：広島県安芸郡府中町  
現住所：北広島町春木（千代田）  
移住年月：平成27年11月